

群馬の埴輪年表

年代	埴輪の種類・出土した埴輪	代表的な古墳
4世紀	ていぶせんこうつぼ 底部穿孔壺 底に穴を開けた壺形の土器で、埴輪の起源といわれています	前橋八幡山
5世紀	器財	しろいしなるりやま 白石稲荷山 (藤岡市)
	椅子 動物人物	太田天神山 ほだたほちまんづが 保渡田八幡塚 (高崎市)
6世紀	家形	ななこしやま 七裏山 (藤岡市)
	円筒	綿貫観音山 (高崎市)
7世紀	前方後円墳が造られなくなり、埴輪も立てられなくなりました	ほうとうざん 宝塔山 (前橋市)

* 東京国立博物館所蔵、Image:TNM Image Archives ** 国(文化庁)保管

県内で出土したえりすぐりの埴輪は「群馬 HANI-1 グランプリ」ホームページ(右図)から見る事ができます



- 群馬の埴輪の特徴**
- ①唯一の国宝群馬にあり!
埴輪で唯一の国宝・埴輪武装男子立像をはじめ、国宝や国重要文化財に指定されている埴輪の45%が本県から出土しています。
 - ②群馬といえば馬!
本県から出土した動物埴輪の9割以上は馬です。当時、馬は財力や権威の象徴とされ、上毛野国では盛んに生産されていました。
 - ③バリエーションが豊富!
畿内で埴輪の生産が次第に減った6世紀中頃以降も、上毛野国では弓や矛、帽子など多様な形の埴輪が作られ続けました。



埴輪をもっと楽しむために

埴輪の見方・楽しみ方について、県埋蔵文化財調査事業団の新倉専門官・普及課長に伺いました。



新倉明彦さん

完成度の高い群馬の埴輪

「当事業団では、道路建設などに伴う発掘調査によって発見された文化財の発掘・復元・保存や県民への情報発信などを行っています。本県から出土した埴輪は、むらなく堅く焼けていて、高い技術で作られていたことを実感します。また焼

古代人の思いを読み取る

「埴輪を見るときは、作った人が何を表現し、伝えたかったのかを読み取ろうとすると、もっと楽しむことができると思います。例えば、簡略化された脚と比べて、上半身の服装や装飾品などが細かく表現されていれば、その部分を強調したかったのかもしれない。埴輪の近くに寄っているいろいろな角度からよく見ることで、新しい発見があると思います。『群馬 HANI-1 グランプリ』などをきっかけに、気になる埴輪が見つかった人には、ぜひ実物を見てさらに興味を膨らませてほしいです」

「群馬古墳フェスタ」に行こう!

☑は申込先、☎は問い合わせ先、✉はEメールアドレスです

◆東国文化シンポジウム

- 期日・時間 10月13日(土) 午後1時30分~4時
- 会場 県立高崎産業技術専門学校(高崎市山名町)
- 内容
 - 基調講演
 - ・演題 畿内における古墳の展開とその背景
 - ・講師 白石太一郎(大阪府立近つ飛鳥博物館名誉館長)
 - パネルディスカッション「古墳からみた畿内と東国」
- 定員 300人(先着順) ※申し込み状況はお問い合わせください
- 申込期限 10月12日(金)
- 申し込み方法 ファクス、Eメールまたはぐんま電子申請受付システム。代表者の氏名・電話番号、参加人数を記入してください

◆古墳イベント

- 期日・時間 10月14日(日) 午前10時~午後3時
- 会場 藤岡歴史館(藤岡市白石)、毛野国白石丘陵公園(藤岡市三ツ木)
- 内容 専門家の解説付き古墳巡り、藤岡歴史館バックヤードツアー、歴史体験ブース(古代衣装体験、勾玉・埴輪作り体験、熱気球体験など)、ステージイベント、「群馬HANI-1グランプリ」結果発表(正午~)など
- 費用 無料 ※一部、費用がかかるものもあります
- 申し込み方法 当日、直接会場にお越しください



「群馬 HANI-1 グランプリ」結果発表

上位10体の埴輪は、当日公開する動画に出演し、オリジナルソングに合わせて踊ります。「笑う埴輪」がトップを守りセンターで踊るのか、他の埴輪の逆転は?

中間発表の順位(8月17日現在)

- 第1位 No.26 笑う埴輪 2,539票 下毛田遺跡(藤岡市)出土
- 第2位 No.57 ぐんまちゃん埴輪 1,957票 白藤V-4号墳(前橋市)出土
- 第3位 No.50 馬に乗る人 1,501票 太田市高林町出土



「笑っている顔がキュート。いやされるー。」など



「頑張れ! 古代ぐんまちゃん!」など



「人、小さすぎ…」など

☑・☎ 県庁文化振興課東国文化推進室 (☎・✉下記) bunshinka@pref.gunma.lg.jp ※イベントの内容など詳しくは、右図からご覧ください

